

○司会 それでは、本日のヒアリングを始めさせていただきます。

最初は、スタートアップ協会の皆様でございます。

（一般社団法人スタートアップ協会 入室）

○司会 ありがとうございます。皆様、どうぞご着席ください。

では、これよりヒアリング及び意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事から一言お願いをいたします。

○小池知事 毎年、この時期、いろんな皆様方の現場のお声など伺わせていただいております。本日は、スタートアップ協会として初めてお越しいただいておりますが、スタートアップをどうやって盛り上げていって、そして、そのエコシステムをこの東京でつくるかということは、大変東京にとりましても重要な課題となっております。共通の課題解決、そして、外部連携の促進など、世界最高のスタートアップ環境の実現に向けてご尽力いただいておりますので、感謝申し上げますとともに、皆様方から直接ご要望やご意見を伺おうということで、短い時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、協会のほうから、都へのご要望の全体像ですとか、特に重点的なご要望につきまして、お聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○一般社団法人スタートアップ協会（砂川代表理事） まずは、このような機会を頂戴しまして誠にありがとうございます。

スタートアップ協会、非常に、そういう意味でいうと、まだ月日の浅い団体ではあるんですが、今までスタートアップがその意見を表明する場所がなかったのが、それがようやく団体としてお話ができるようになったのが非常にありがたいと思っております。

我々としては、もう本当に東京都がある意味ベイエリアを超えるようなスタートアップエコシステムの間になっていくということを夢見ておりまして、こういったイニシアチブを取っていただくことに非常にありがたく思っておりまして、その中で、特に補助金プログラムの部分でございます。我々としては、補助金のところを非常に、S U T E A Mのところですか、その頻度、規模の拡大を図っていただくべく、お願いできればというふうに思っている次第でございます。

○司会 よろしゅうございますか。

○一般社団法人スタートアップ協会（砂川代表理事） はい。

○司会 ありがとうございます。

それでは、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 私たちもスタートアップ、どのようにして連携をして、そして、伸びていき、その中からユニコーンが生まれてくれればということを期待をしているわけですが、しかしながら、その環境を整えないといけないということで、アクセラレーター、ベンチャーキャピタルなどのエコシステムプレーヤーの皆様の役割、大変重要でございます。早速今月の27日に有楽町にT o k y o I n n o v a t i o n B a s eを設け、プレオープンをいたしますので、そこでいろんな方々からの意見交換などの場、また、プレゼンテーシ

ョンの場などに使っていただき、そこから新たなスタートアップを見いだし、また、世界に向けて展開をする、そういった方々を後押しをする交流イベント、そして、育成プログラム、皆様と連携しながら数多く実施していきたいと考えております。

続いて、担当局長のほうからコメントさせていただきます。

○スタートアップ・国際金融都市戦略室長 スタートアップ・国際金融都市戦略室長のほうでございます。砂川会長、いつもお世話になっております。あと、野中様、Tokyo Innovation Baseのスターティングメンバーとしても参加していただき、ありがとうございます。

今、会長のほうからお話しいただきました補助金なんかも含めた様々な支援策については、まさにスタートアップの皆様のご意見をいただきながら、どういうふうにしていけばいいかということを考えていきたいというふうに思っております。また、今話が出ましたTIB、Tokyo Innovation Baseのほうですけども、たくさんのスタートアップ、それから、その支援者の方が集まる場所ということで、交流するだけでなく、そういう多様なプレーヤーに関する情報をしっかりと集約して、みんなで共有していくと、こういう取組をしたいと思っております。利用者向けのアプリを導入するとか、様々なプレーヤーが提供するプログラム、イベントなんかも一斉に配信していくという、そういう仕掛けも考えたいと思っておりますので、ぜひまたご意見をいろいろ伺わせていただきながら進めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 ご要望に対しての都側のコメントは以上でございますけども、この際でございますので、何かございましたらば。

○一般社団法人スタートアップ協会（砂川代表理事） ありがとうございます。

もう1点、補助金事業の一覧化、この辺りもぜひやっていただければというふうに思っております。非常に魅力的なプログラムがいっぱいある中で、なかなかそれを見つけないことができないという、ごめんなさい、それはスタートアップ側の問題でももちろんあるとは思いますが、そういったものが一覧で見れて、そういったものを有効活用させていただくことができる、我々としては非常にありがたいなというふうに思っておりますので、ぜひお願いできればというふうに思っております。

○スタートアップ・国際金融都市戦略室長 ありがとうございます。

都としても様々な支援をしているところですけども、やはり十分に届いていないというところもあると思いますので、見える化をしっかりとやっていきたいと思っております。それを冊子とかではなくて、デジタルのベースでしっかり届けるような仕掛けも考えたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

もしよろしければ、ちょっと時間の関係もございますので、これを持ちましてヒアリング終了とさせていただければと思います。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人スタートアップ協会 退室）

○司会 続きまして、スタートアップスタジオ協会の皆様でございます。よろしくお願いいたします。

（一般社団法人スタートアップスタジオ協会 入室）

○司会 それでは、皆様、どうぞご着席ください。

それでは、ヒアリング及び意見交換を始めさせていただきます。

まず、冒頭、知事から一言お願いいたします。

○小池知事 おはようございます。こういう形で都庁に来ていただくの、初めてだと思いますけれども、スタートアップはまさしく私たち東京都として、より多く創出をして、そしてまた、世界で活躍してくださるような、そんなスタートアップが生み出せればと、そのエコシステムづくりですね、連携してやっていければと思っております。スタートアップとともに、新しい時代を切り開くというのも、東京都にとりましても重要な課題でございます。そして、起業のハードルは下げて、身近になる社会に向けて発信活動、そして、支援ネットワークの構築などの取組、既にご尽力もいただいております。感謝申し上げるとともに、これをもっと広げていくためには何が必要なのか、実際の現場、担っておられる皆様方からご要望、また、ご意見などを伺えればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、協会の皆様のほうからご要望、特に重点的なご要望についてお聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○一般社団法人スタートアップスタジオ協会（佐々木代表理事） じゃあ、本日はお時間いただきましてありがとうございます。

我々、東京都が掲げる「Global Innovation with STARTUPS」の「10×10×10」の実現のために、起業家の裾野拡大を重点的に貢献、引き続きしていきたいなって考えてます。それを実現していくために、幾つかの問題、課題を解決していくことで、非連続な成果を出していったって、10倍の成果に近づくことができるんじゃないかなって考えて、ご提案させていただきます。

大きな課題として、3段階の課題があるなって私たちは考えてます。1つ目は、東京都庁内のスタートアップの支援の現場にスタートアップに精通した人材をもっと職員として育成していく必要があるんじゃないかなって考えています。もう一つが、スタートアップ支援事業自体が自治体ビジネスとしてなってしまうことによる弊害が生まれてるんじゃないかなって考えてます。最後の3つ目が起業家の創出、支援において、とても個別性が高い対応が必要なんです、それがなかなか難しいというのが今現状としてあるんじゃないかなって考えてます。

少し詳細をお話ししますと、1つ目の育成については、現状は、このスタートアップ支援事業者や有識者、それぞれの意見をうのみにしてしまっていて、てんでんばらばらな施策となってしまうと、そのつながりによって相乗効果が生みづらい状況になっているんじゃないかなって考えてまして、なので、職員の中の、特に現場の中に精通した人材を育成し

ていくことが重要ではないかなって考えています。そこを解決していくことで、2つ目のスタートアップ支援事業者と共に中長期の目線で本質的な非連続な成果を出すための施策を検討して実施していけるんじゃないかと考えてまして、本当に強力なwith STARRTUPSの関係性を構築して、幾つかのあらゆる課題を解決に取り組んでいくことが必要なんじゃないかって考えてます。最後に、3つ目として、起業家のゼロイチの、特にゼロに近ければ近いほど非常に個性が高く、人によっては必要な時間が、数週間で立ち上がる人もいれば、数年かかる人たちもいます。そんな中で、かっちりとしたプログラムだと、なかなかワークしづらいという問題がありまして、その課題にも対応していく必要があるんじゃないかなって考えています。

その全体の問題を解決していき、東京都のスタートアップエコシステムを高度に機能させていくために、我々、共に、東京都と連携をこれまで以上に密にしていくことが不可欠なんではないかなって考えています。そのために、Tokyo Innovation Baseの中に我々有識者、協会の活動拠点を置かせていただいて、都と協会、日頃から顔と膝を突き合わせながら、一つ一つの問題に対して腰を据えて向き合って、対応していく場づくりが必要なんじゃないかなって考えています。また、続けて、起業家一人一人に向き合える支援の仕組みが必要ではないかって考えていまして、そのために、また引き続きTokyo Innovation Baseにて起業家候補者の方々が有識者にいつでも相談できる窓口を設置していくことが非常に重要だと考えています。なので、この今回の提案を基に、来期のスタートアップ支援の施策の参考にしていただけるとありがたいです。

以上です。よろしくお願いします。

○司会 ありがとうございます。

それでは、まず、知事からコメントをお願いいたします。

○小池知事 スタートアップの皆さんの挑戦を後押しをする場として、今話ありましたTokyo Innovation Baseがプレオープンということであります。ぜひスタートアップ、その支援者の方々が集まって交流をし、そして、実際にスタートアップがまさにスタートをして、そして、実りを上げていただくという、そのための今幾つか足りない部分などについてもお話がございました。正直、税金がかかってきますと、我々も説明責任を求められることになりますので、必要なきっちりとした部分は当然欠かせなくなります。一方で、スタートアップの挑戦は、本当にチャレンジをして、やってみないと分からないとか、それから、あと、私どものこの行政において、キングサーモンプロジェクトというものを設けて、そこでむしろチャンスをこちらから提供することによって実績を積み上げてもらうとか、いろんなチャネルをつくっております。現実には、自治体職員、非常にかっちりした人たちというのは、もう特性として、そういうものですから、その辺りは、ぜひよく連携取っていただいて、そして、スタートアップが活躍しやすくなるようなエコシステムづくりのために、どういう人材が都として必要なのか、育成の仕方はどう

なのか、それらを考えていきたいというふうに思っております。また、いつでもアイデアをぶつけていただいたり、悩みを相談できるような環境を整えていきたいと思っております。

局長から続けてコメントをさせていただきます。

○スタートアップ・国際金融都市戦略室長 スタートアップ・国際金融都市戦略室長、よろしくお願いします。大変いつもお世話になっております。ありがとうございます。

今まさに東京都とスタジオ協会さんと日常的に顔を突き合わせながら、膝を突き合わせながら話をしていきたいというお話がございました。大変ありがたいと思っております。既にTokyo Innovation Baseのスターティングメンバーとして、いろいろとご協力いただいておりますけれども、まさにInnovation Base、スタートアップエコシステムの発展に尽力されている皆さんが一堂に集って、どうやってエコシステムつくっていかうかというのを議論をしながら進めていく場だというふうに思っておりますので、ぜひこれからもよろしく願いしたいということと、協会さんとして、活動を東京都と一緒に議論をしていきたいということでございますので、非常に日常的にあの場において、どうやっていけばいいかということを経験できるような仕掛けをちょっと考えたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

○司会 ご要望に対しての東京都のコメントは以上でございますが、この際、何かございますでしょうか。

○一般社団法人スタートアップスタジオ協会（佐々木代表理事） やっぱり「10×10×10」の目標って非常に高い目標だと我々も思っていてまして、やっぱりそれを実現するためには、我々の支援者側もすごく都と一緒に協力して支援の仕組み、ないし、より非連続な成果を出すための施策を考えていく必要があるかなって考えてまして、来期も引き続き一緒に東京都のスタートアップエコシステムの強化へ取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○司会 よろしいですか。

それでは、これをもちましてヒアリングを終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（一般社団法人スタートアップスタジオ協会 退室）